



第 2820 地区

HITACHI SOUTH ROTARY CLUB

【例 会 場】 要害クラブ TEL (0294) 36-2020
 【例 会 日】 毎週火曜日 12:00~13:00
 【事 務 所】 日立市末広町 1-1-3 国分協同組合内
 TEL (0294) 36-5074 FAX (0294) 37-2176
 Mail: info@hitachi-south-rc.org



Weekly Bulletin
週報 No.31

■会 長 鹿志村 高道 ■副会長 高 島 章 行
 ■幹 事 川 崎 健 輔 ■会報委員 遠 藤 陽 夫

本日の例会：平成 24 年 3 月 6 日（火） 【プログラム】卓話 / 雑誌・広報委員会

次回例会：平成 24 年 3 月 13 日（火） 【プログラム】卓話 / 新入会員（夜間例会）

例会報告

3 月 6 日（火）12:00 開会

川崎 健輔 幹事



会長の時間

鹿志村高道 会長



会長の時間をいただきました。

皆さんは、どのような時に春を感じるのでしょうか。

私は会社が本山の旧石灰山にある関係で、その途中にある岩場から垂れ下がる氷柱が溶けた時に感じます。

18 年前に旧石灰山の工業団地に引っ越してから、冬になると必ず氷柱が出来ます。

今年は特に寒かったせいか、12 月の後半から氷柱が出来始め、例年になく太い氷柱が何本も出来ました。

出勤の時にそこを通るとそれだけで寒さを感じたものでした。

その氷柱も啓蟄の昨日、朝出勤する時にはきれいに溶けておりました。やっとこれで春がやってくると思うだけで、心がうきうきしてまいります。

以上、会長の時間とさせていただきます。



幹事報告

川崎 健輔幹事



- 50 周年記念事業で河原子小学校へ防護ヘルメットを贈る予定です。
- 震災孤児支援プロジェクトは、これからは社会奉仕委員会へ引き継ぎたいと思います。
- ワイキ RC の会員が 10 名ほど、日立来訪いたします。
- 交換留学生、3 月 23 日に出発し 4 月 8 日に帰国いたします。
- 事務所が 3 月 8 日に移転いたします。



委員会報告

烏帽子会 _____ 木本会員

- 3 月 15 日。ジャケット着用でお願いします。

国際奉仕委員会 _____ 大森委員長

- 姉妹クラブであるワイキ RC の会員の皆さんが日立にお越しになります。4 月 4 日に歓迎会を催す予定です。
- 震災孤児支援プロジェクトの中間決算書を配布い

たしました。ご一読下さい。

- 今年度の交換留学生の面接を明日、明秀学園で行います。



出席報告

小澤 興 委員長

会員数	出席	欠席	出席率	MakeUp	修正	免除
34名	18名	16名	52.94%	2名	60.6%	1名



ニコニコ BOX

川村昌弘委員長

- ◇ 小山委員長、よろしく御願いたします。
鹿志村会長・川崎幹事・宮本尚彦・石川國博・高島章行・大森孝之・池澤 健・木本貴一・山本忠安・星 勝治・信太克己・遠藤陽夫・川村昌弘・鈴木幸一・小澤 興・弓野博司
- ◇ 今日は雑誌・広報の卓話させていただきます。
小山高一
- ◇ 高島会員に敬意を表し、風流物の雑誌を贈らせていただきます。
大森昌弘



本日も多くの方からニコニコ BOX へのご協力 誠にありがとうございました



本日計 28,000 円	累計額 1,022,000 円
--------------	-----------------



プログラム

卓話 / 雑誌・広報委員会

小山委員長



- 昨年4月の卓話のときは、過去1年間の「ロータリーの友」を見ながら、私自身が印象に残った記事をピックアップし、お話をさせていただきました。今回もそのようにお話ししたいと思います。もう一度、「ロータリーの友」を読んでみようと思ってもらえるようになればよいと思います。
- 10年の12月号に「備えあれば憂いなしー南海地震に備えて」という記事がありました。この講演をさ

れた方が私の高校の10年後輩です。この記事を紹介したあと、3月に東日本大震災が起こりましたので、「備えあれば憂いなしー東日本大震災」と置き換えて、また読んでいただければ幸いです。吉成市長にも、これを読んで役立てて欲しいと話したことを思い出します。

- この1年の「ロータリーの友」は、東日本大震災のあとということもあって、編集方針が変わったのかもしれませんが。というのは、昨年5月号から毎月「心は共に」というコーナーを設けて震災関連のロータリーの活動報告が記載されており、本当にロータリーの活動は素晴らしいと感じた次第です。
- 先月の2月号で、前岩手県知事だった増田寛也氏が講演した記事が出ていました。増田さんが言うには、「災害発生時の訓練はそれなりに各地域で行ってはいたが、実際には非常事態モードに切り替えが出来なかった。それが大きな被害に繋がった。」という反省が書いてありました。国政でぜひその反省を生かして活動していただきたいと思います。
- 今月号の松下さんの記事は参考になるとと思いますので、ぜひ読んでいただけたらと思います。

会長の点鐘にて終了